

**資 料**

## 「企業短期経済観測調査」(59年11月)の 結果について

〔調査対象企業数…主要企業短期経済観測調査 656社(回答率 100%)  
全国企業短期経済観測調査 6,929社(回答率 87.3%)〕

### (概 況)

主要企業をみると、製造業の業況判断は、「良い」超幅が引続き拡大しているが、輸出の伸び悩み感を背景に改善テンポは年前半の時期に比べ鈍化している。一方、非製造業では、小売を中心に着実な改善が続いている。先行き60年3月にかけては、製造業がほぼ横ばいの予測となっているが、非製造業では引続き改善が期待されている。

製造業の売上げは、7～9月まで伸長のあと、10～12月から60年1～3月にかけては輸出の鈍化から伸びが低下すると予測されている。もっとも、前回8月調査に比べると、59年度下期通計の売上げ計画は内需を中心に上方修正されている。一方、非製造業の下期売上げは、商社での輸出鈍化を主因に上期に比べ伸びが低下する予測となっているが、小売では堅調な伸びが見込まれている。

この間、製造業の経常利益は、上期がかなりの増益となったあと、下期についても、増益テンポは低下するものの、固定費負担の軽減等に支えられ高水準を続ける予測となっている(売上高経常利益率は近年のピークに接近)。非製造業でも、下期は増益が期待されている。

こうした中で、主要企業の59年度設備投資計画は、8月調査時点に比べ製造業を中心に引続き増額修正され、伸びを高めている。下期についても、かなりの増加が計画されている。

なお、企業金融は、全体として引続きかなり緩和した状態にある。

次に、中小企業をみると、業況判断は主要企業同様、製造業が一部輸出関連業種等で伸び悩みを示している一方、非製造業では小幅ながら改善している。

こうした事情を映じて、中小企業の59年度設備投資計画は、製造業では増額修正のテンポがこれまでに比べ鈍化しているものの、非製造業では8月調査時点からかなりの上方修正をみている。

## 1. 主要企業

## (業況判断)

主要企業・製造業の業況判断D. I. は「良い」超幅が引続き拡大をみている(「良い」―「悪い」社数構成比、59年5月11%→8月15%→11月17%)が、改善テンポは年前半の時期に比べ鈍化している。業種別には、電気機械など輸出関連加工業種での改善鈍化が影響している。この間、素材業種では石油精製の持直しもあって緩やかな上昇傾向が続いている。

一方、非製造業の業況判断D. I. は8月調査に続いて着実に改善した(同、0%→2%→6%)。業種別には、主として小売の改善が寄与している(小売は56年11月以来久方振りに小幅「良い」超に転化)。

先行き60年3月にかけては、製造業が横ばい圏内の予測となっている(同18%)

## 主要企業の業況判断D. I.

(「良い」―「悪い」%、( )内は1期前調査時予測)

	58年 11月	59年 2月	5月	8月	11月	(予測) 60年3 月まで
製造業	(△12) △17	(△3) △4	(9) 11	(21) 15	(19) 17	18
前期比変化幅	+12	+13	+15	+4	+2	+1
食料品	△3	13	4	3	(3) △10	△4
繊維	△11	3	26	26	(15) 23	23
パルプ・紙	15	15	15	23	(23) 31	38
化学	△19	△8	8	19	(21) 22	23
石油精製	△30	△20	0	△40	(0) △22	0
窯業	△42	△10	△10	△10	(0) △10	△10
鉄鋼	△58	△34	△15	△7	(7) 0	3
非鉄金属	△28	△23	10	24	(33) 23	19
一般機械	△20	△11	2	8	(18) 15	18
電気機械	7	37	44	49	(54) 51	49
造船	△57	△57	△57	△43	(△43) △43	△57
自動車	5	5	36	39	(42) 39	42
精密機械	12	25	27	27	(18) 36	27
素材業種	(△17) △24	(△6) △11	(9) 7	(17) 11	(16) 15	16
加工業種	(△7) △8	(△1) 4	(10) 14	(23) 18	(21) 20	20

	58年 11月	59年 2月	5月	8月	11月	(予測) 60年3 月まで
非製造業	(△5) △8	(△6) △7	(5) 0	(7) 2	(7) 6	9
前期比変化幅	+1	+1	+7	+2	+4	+3
建設	△7	△14	△29	△27	(△20) △25	△25
商社	3	6	11	12	(17) 12	17
小売	△15	△10	△7	0	(3) 7	10
運輸	△31	△29	△22	△15	(△11) △6	△4
電力・ガス	21	43	43	21	(14) 36	36
サービス	14	0	25	28	(30) 28	25

(備考)

素材・加工業種別区分は次による。

素材業種：繊維、パルプ・紙、化学、石油精製、窯業、鉄鋼、非鉄金属。

加工業種：食料品、金属製品、一般機械、電気機械、輸送用機械、精密機械、その他製造業。

のに対し、非製造業では引続き今回調査と同程度の改善が期待されている(同9%)。

(売上げ、需給)

製造業の売上げは、7～9月まで伸長のあと、10～12月には加工業種を中心とした輸出の鈍化から伸びが低下する見込みとなっている(季節調整済み前期比、7～9月 +2.4%→10～12月 +0.7%)。また、60年1～3月も輸出を中心に低い伸びが予測されている(同 +0.4%)。

主要企業・製造業の売上げ

(季節調整済み前期比増減(△)率%)

	59年 1～3月	4～6月	7～9月	(予 測) 10～12月	(予 測) 60年 1～3月
売 上 高	4.7	0.2	2.4	0.7	0.4
輸 出	5.5	3.4	3.6	△ 0.7	△ 0.4
内 需	4.5	△ 0.8	2.0	1.2	0.7

こうした中で、製品需給判断D・Iは電気機械等での需給逼迫感の後退等から加工業種でも改善が一服するかたちとなっている。

主要企業・製造業の製品需給判断D・I

(%、( )内は8月調査時予測)

	58年11月	59年2月	5 月	8 月	11 月	(予測) 60年3月 まで
製 品 需 給 判 断 (「需要超」—「供給超」)	△ 45	△ 35	△ 30	△ 27	(△ 27) △ 25	△ 24
素 材 業 種	△ 49	△ 38	△ 32	△ 35	(△ 31) △ 30	△ 28
加 工 業 種	△ 38	△ 30	△ 26	△ 21	(△ 23) △ 21	△ 19

もっとも、59年度下期通計の売上げ計画は、上期に比べ増勢鈍化の予測となっている(季節調整済み前期比、上期 +4.9%→下期 +1.2%)ものの、8月調査からは内需を中心に伸びが上方修正されている(8月調査同 +0.6%)。下期の内需については、自動車が8月調査に比べ減額している一方で、電気機械、一般機械、鉄鋼等はかなり上方修正している。

非製造業の下期売上げは、製造業同様、上期に比べ伸びが幾分低下する(季節調整済み前期比、上期 +2.7%→下期 +1.9%)見通しとなっているが、これには

主として商社での輸出鈍化(同、+7.7%→+2.5%)が影響している。この間、小売では上期を上回る伸びが予測されている(同、+1.8%→+2.5%)。

### 主要企業の売上げ計画

(季節調整済み前期比増減(Δ)率%)

		58年度 下 期	59年度 上 期	59年度下期(計画) 8月調査→11月調査
製 造 業	売 上 高	4.5	4.9	0.6→1.2
	輸 出	6.3	6.9	1.6→1.5
	内 需	3.9	4.2	0.3→1.1
非 製 造 業	売 上 高	4.1	2.7	2.1→1.9
	うち商社	4.0	3.6	1.3→1.2
	小 売	1.8	1.8	2.5→2.5

### (企業収益)

製造業の59年度上期経常利益は、8月調査に比べ大方の業種で上方修正され、58年度下期に続いて大幅増益となった(前期比、58年度下期+36.6%→59年度上期+10.9%、石油精製を除く同+23.5%→+18.0%)。この結果、上期の売上高経常利益率(4.65%)は近年のピーク(54年度上期4.77%)に近い水準まで上昇した(とくに加工業種ではそれを更新)。下期も、増益テンポは低下するものの、金融費用の節減や人件費の抑制等を背景に引続き高水準を維持すると予測されている(前期比+2.6%、石油精製を除く同+0.7%)。

また、非製造業の経常利益も、上期が売上げの季節的減少等から減益(前期比Δ25.6%)となったあと、下期については、季節的な要因に加え金融費用の圧縮等もあって、再び増加に向かう(同+21.6%)と予測されている。

### 主要企業の経常利益

(前期比増減(Δ)率%、< >内は前年比増減(Δ)率%)

	58年度 下 期	59年度		(参考) 売上高経常利益率 59年度 上 期 [最近時ピーク]
		上期 8月調査→実績	下期(予測) 8月調査→11月調査	
製 造 業	36.6	1.2→10.9	12.0→ 2.6	4.65% (54/上) 4.77%
除く石油精製	23.5	10.1→18.0	7.7→ 0.7	5.06 (54/上) 5.14
素 材 業 種	175.0	Δ13.7→Δ1.2	22.1→10.0	3.29 (54/上) 4.38
除く石油精製	88.1	14.9→22.2	6.5→ 3.2	4.09 (54/上) 5.15
加 工 業 種	10.1	8.4→16.5	8.1→Δ0.3	5.55 (54/下) 5.23
非 製 造 業	45.7 < 16.1 >	Δ25.0→Δ25.6 < 8.4 >	19.6→ 21.6 < Δ 9.5 >	

## (設備投資)

59年度設備投資計画は、非製造業が依然伸び悩みを示しているものの、製造業では8月調査時点に比べ増額修正され、一段と伸びを高めている(前年度比、8月調査+13.3%→11月調査+16.8%)。この結果、主要企業全体では前年度比+7.7%の伸びに上昇している(8月調査同+7.1%)。

業種別にみると、製造業では電気機械が大幅な追加を実施しているほか、素材業種も非鉄、パルプ・紙を中心に小刻みな増額修正を続けている。なお、非製造業は電力での工事遅延等から小幅減額修正をみている。

半期別には、上期に続いて下期も製造業を中心にかなりの増加が計画されている(季節調整済み前期比、上期+5.5%→下期+10.4%)。

## 主要企業の設備投資計画(工事ベース)

(前年度比増減(Δ)率%)

(季節調整済み前期比増減(Δ)率%)

	58年度	59年度(計画)		58年度 下期	59年度 上期	59年度 下期(計画)
		8月調査→11月調査	8月調査 比修正率			
製造業	Δ 8.2	13.3→16.8	(+ 3.0)	Δ 5.6	13.9	14.2
素材業種	Δ12.0	4.2→ 5.7	(+ 1.2)	Δ 8.7	4.3	15.5
加工業種	Δ 4.9	20.6→25.6	(+ 4.2)	Δ 3.0	21.3	13.3
非製造業	Δ 0.9	1.3→Δ0.8	(- 2.0)	0.2	Δ 2.0	6.5
電力	1.3	Δ1.0→Δ2.7	(- 1.7)	3.0	Δ 0.7	Δ 0.5
主要企業計	Δ 4.6	7.1→ 7.7	(+ 0.5)	Δ 2.6	5.5	10.4

## (雇 用)

雇用面では、製造業を中心に引続き回復気配がみられるが、そのテンポは極く緩やかなものにとどまっている(季節調整済み前期比、主要企業計59年9月末+0.1%→12月末+0.2%→60年3月末+0.1%)。なお、60年度の新卒者採用については、久方振りに持直す計画となっている(前年度比、主要企業計59年度Δ7.2%→60年度+6.8%)が、最近時のピークの56年度に比べるとなお2割方下回る水準となっている。

## 主要企業の雇用人員

(季節調整済み前期比増減(Δ)率%)

	59年 3月末	6月末	9月末	(予 測) 12月末	(予 測) 60年 3月末
製造業	0.0	Δ 0.3	0.0	0.2	0.3
非製造業	Δ 0.5	Δ 0.4	0.3	0.3	Δ 0.4
主要企業計	Δ 0.2	Δ 0.3	0.1	0.2	0.1

### 主要企業の新卒採用予定者数

(前年度比増減(Δ)率%)

	56年度	57年度	58年度	59年度	(計 画) 60年度	(60年度/ 56年度)
製 造 業	21.9	Δ 3.8	Δ24.3	Δ 6.4	11.6	(Δ23.9)
非 製 造 業	0.9	3.4	Δ10.2	Δ 9.3	Δ 3.9	(Δ19.1)
主要企業計	15.6	Δ 2.0	Δ20.8	Δ 7.2	6.8	(Δ23.1)

#### (企業金融)

なお、企業金融面では、業況が伸び悩んでいる繊維、窯業など一部業種には緩和后退もみられるが、全体としては引続きかなり緩和した状態にある(「楽である」—「苦しい」社数構成比〈主要企業計〉、59年5月22%→8月23%→11月21%)。

この間、金融機関借入金は、資金調達手段の多様化等を背景に依然として減少傾向が続いている(主要企業計〈除く電力〉、残高前年比、59年9月末Δ0.9%→12月末Δ2.8%→60年3月末Δ2.0%)。

### 主要企業の企業金融関連指標

〈資金繰り判断D・I〉

(「楽である」—「苦しい」、%)

〈金融機関借入金残高〉

(前年比増減(Δ)率%)

	58年 11月	59年 2月	5月	8月	11月
主要企業計	11	15	22	23	21

	59年 3月末	6月末	9月末	(予測) 12月末	(予測) 60年 3月末
主要企業計 〈除く電力〉	Δ0.4	Δ1.3	Δ0.9	Δ2.8	Δ2.0

## 2. 中小企業

#### (業況判断)

中小企業・製造業の業況判断D・Iは、8月調査に続いて伸び悩みをみている(「良い」—「悪い」社数構成比、59年5月Δ1%→8月0%→11月0%)。業種別には、素材業種が輸出関連の繊維等を中心に引続き足踏みしているほか、これまで改善を続けてきた加工業種も、電気機械での良好感の後退等が響いて、8月調査の水準でほぼ横ばいとなった。これに対し非製造業は、8月調査で横ばいのもと、卸売、運輸を中心に再び小幅ながら改善した(同、Δ5%→Δ5%→Δ3%)。なお、先行きは、製造業、非製造業とも横ばい圏内の予測となっている。

## 中小企業の業況判断 D. I.

〔「良い」-「悪い」%、( )内は1期前調査時予測〕

	58年 11月	59年 2月	5月	8月	11月	(予測) 60年3 月まで
製造業	(△14) △15	(△13) △10	(△3) △1	(3) 0	(4) 0	0
前期比 変化幅	+8	+5	+9	+1	0	0
食料品	1	0	△1	△2	(5) △5	△3
繊維	△24	△18	△4	△6	(4) △13	△15
木材・ 木製品	△24	△38	△35	△45	(20) △33	△23
パルプ・紙	△11	△3	4	△3	(5) △3	△3
化学	△7	△2	0	0	(3) △1	0
窯業・土石	△29	△18	△14	△17	(9) △16	△12
鉄鋼	△33	△17	1	10	(9) 6	△2
非鉄金属	3	7	20	33	(21) 32	21
金属製品	△20	△10	1	6	(9) 8	5
一般機械	△29	△20	△6	3	(3) 2	7
電気機械	22	27	41	44	(42) 42	30
輸送用 機械	△22	△20	△7	△6	(2) 1	6
精密機械	△18	7	13	36	(32) 37	30
素材業種	△22	△16	△7	△9	(4) △10	△10
加工業種	△11	△5	4	7	(10) 8	8

	58年 11月	59年 2月	5月	8月	11月	(予測) 60年3 月まで
非製造業	(△8) △14	(△6) △11	(△4) △5	(△2) △5	(△1) △3	△2
前期比 変化幅	0	+3	+6	0	+2	+1
建設	△14	△14	△9	△15	(13) △6	△19
卸売	△17	△15	△7	△6	(1) △5	0
小売	△16	△11	△4	△3	(1) △9	4
不動産	△11	△5	13	9	(11) 4	7
運輸・倉庫	△15	△11	△6	△5	(9) 2	△2
サービス	△3	0	△1	1	(3) 2	△2

(備考)

素材・加工業種別区分は次による。

素材業種：繊維、木材・木製品、パルプ・紙、化学、石油・石炭、窯業・土石、鉄鋼、非鉄金属。

加工業種：食料品、金属製品、一般機械、電気機械、輸送用機械、精密機械、その他製造業。

## (売上げ)

製造業の売上げは、59年度上期伸長のあと、下期については素材、加工両業種とも増勢鈍化が見込まれている(前年比、上期+8.0%→下期+5.1%)。ただ、前回調査に比べると一般機械等を中心に幾分上方修正されている。一方、非製造業でも、下期売上げの伸びは建設の低迷等から上期に比べ低下する(同、+6.5%→+2.3%)予測となっているが、前回調査からは主として運輸・倉庫で上方修正をみている。

## 中小企業の売上げ

(前年比増減(Δ)率%)

	58年度 下期	59年度上期 8月調査→実績	59年度下期(計画) 8月調査→11月調査
製造業	7.8	7.9→8.0	4.8→5.1
非製造業	3.5	6.4→6.5	1.3→2.3

## (企業収益)

製造業の59年度上期経常利益は、58年度上期以来3期連続して増加した(前期比、58年度下期 +37.3%→59年度上期 +5.5%)。下期についても、引続き増益が見込まれている(同 +11.6%)。また、非製造業でも、上期減益のあと、下期は季節的な要因もあって増益が期待されている(同、上期  $\Delta 21.1\%$ →下期 +13.7%)。

## 中小企業の経常利益

(前期比増減( $\Delta$ )率%、 $\langle$  )内は前年比増減( $\Delta$ )率%)

	58年度 下 期	59年度上期		59年度下期(予測)	
		8月調査→実 績		8月調査→11月調査	
製 造 業	37.3	8.2→ 5.5		14.5→11.6	
非 製 造 業	55.8 $\langle 6.6 \rangle$	$\Delta 23.0 \rightarrow \Delta 21.1$ $\langle 22.9 \rangle$		29.7→ 13.7 $\langle \Delta 10.3 \rangle$	

## (設備投資)

製造業の設備投資計画は、8月調査時点に比べ引続き伸びが上昇している(前年度比、8月調査 +23.7%→11月調査 +32.0%)。ただ、増額修正のテンポは、輸出関連の電気機械や繊維等を中心にこれまでに比べ鈍化している(前回調査比修正率、5月調査 +29.5%→8月調査 +12.4%→11月調査 +7.7%)。一方、非製造業では、引続き低い伸びにとどまっているものの、8月調査時点からは卸売、運輸を中心にかなり増額修正されている(前年度比、8月調査  $\Delta 7.8\%$ →11月調査 +6.6%)。

## 中小企業の設備投資計画(工事ベース)

(前年度比増減( $\Delta$ )率%)

	58年度	59年度(計画)		8月調査 比修正率
		8月調査→11月調査		
製 造 業	10.9	23.7→32.0		(+ 7.7)
非 製 造 業	$\Delta 24.2$	$\Delta 7.8 \rightarrow 6.6$		(+13.3)
中 小 企 業 計	$\Delta 14.7$	2.9→15.2		(+11.9)

(参考) 中小企業の前回調査比修正率の推移(%)

		5月調査	8月調査	11月調査
製造業	59年度	+29.5	+12.4	+ 7.7
	58年度	+ 9.0	+14.3	+14.0
非製造業	59年度	+16.3	+ 7.5	+13.3
	58年度	n.a.	+ 4.9	+12.4

## (雇 用)

雇用者数は、製造業を中心に引続き緩やかな回復傾向をたどっている(中小企



業計、前年比59年9月末 +0.7%→12月末 +0.9%→60年3月末 +0.8%)。ただ、製造業での増員テンポは年度末にかけてやや鈍化に向かうと予測されている(同、+1.8%→+2.0%→+1.7%)。

### 中小企業の雇用人員

(前年比増減(Δ)率%)

	59年 3月末	6月末	9月末	(予測) 12月末	(予測) 60年 3月末
製造業	0.9	1.7	1.8	2.0	1.7
非製造業	Δ 0.1	Δ 0.3	0.0	0.2	0.2
中小企業計	0.3	0.5	0.7	0.9	0.8